

横芝町のみなさんこんにちは。今回は、外来で診察を受ける際に注意していただきたいことについてお話ししたいと思います。

今は一年でも一番寒い季節ですでの、風邪などひかないよう充分暖かい服を着てお越しください。（もつとも風邪をひいたから病院に行くんだ、という人も多いと思いますが）病院の中は暖房をきかせて暖かくしておりますので診察待ちの間に上着を脱いで少し軽装になってお待ちください。現在、東陽病院では外来は予約診療を行っています。初めて診察を受けられる方や予約以外の日に具合が良くないなどの理由でいらした方は、その予約の枠の間に診察することになります。そのため受け付した順番と呼ばれる順が少しづれることができますがご了承いただきたいと思います。また、予約以外の受診の方には診察を出来るだけ円滑に進めるため問診票をお配りして



東陽病院内科医師

鈴木 健士

健康ウォッチング

外来で診察を受ける際に…



おります。簡単な体の図と主な症状が書いてありますので、当てはまる症状をまるで聞み、痛みなどがある場所は体の図にまるをつけてください。（当時はまる症状がない時には具体的に症状を書いてください）

順番が来ますとまず看護婦が名前をお呼びして血圧をお計ります。この際風邪気味や熱のある方などはお知らせください。同時に体温計をお渡しします。血圧を計りましたら少し狭いですが診察室のすぐ手前の中待合いでお待ちください。広い待合所ではお呼びしても聞こえないことがあります。

診察の際は原則として胸やお腹を診せていただきますので、服装は前を開けやすいものがよいと思います。ボディースーツ、胴巻き、腰ひもなどは避けるようにしてください。また、腰痛用のコルセットなどは中待合に入りましたら外せましたら外してお待ちください。問診ではどんな症状があるから、どんなときにあるの

か、時々あるのか、持続的にあるのかなどを簡潔に教えてください。

診察が終わって処方箋が出ましたら薬局の窓口にあります緑色の機械に処方箋を入れてください。引換券が出ますのでそれを持ってお待ちください。その間に予約のある方は総合受付で予約をとります。医者が渡した予約券はそのままでは予約になりません。受付で事務の者が予約時間を書き込み、はじめて予約完了となりますのでご注意ください。

病院職員もできるだけ速やかに満足の行く医療を提供できよう努力したいと思つております。わからない点などがありますたら遠慮なくお尋ねくださいますようお願い致します。

宝くじの助成で コミュニティ活動備品を整備

本町区では、このほど平成11年度コミュニティ助成事業を受けて、祭礼用備品とカラオケセットを整備しました。

コミュニティ助成事業は、財団法人自治総合センターが、地域住民のコミュニティ活動の健全な発展と宝くじの普及広報事業を目的として行う事業です。整備された備品は、「宝くじ助成備品」として購入されたものです。

祭礼用としては、祭り半纏や羽織り・鼓・太鼓台・紅白幕・山車腰幕などと、これらを保管する収納庫が。また、老人クラブなどカラオケの練習を通して親睦交流を深めるため、カラオケセットが整備されました。

地域のコミュニティ活動のいっそうの増大が図られるものと思います。

整備された鼓（右）と
カラオケセット（下）